

四季の風

■発行責任者／病院長 金岡 祐次
■編集 集／大垣市民病院広報・企画委員会



広報 第73号

●発行 令和3年1月1日●

CONTENTS

新型コロナウイルスと正しく闘うために！……………P1・2
入退院支援センター開設から1年……………P3

変形性膝関節症とリハビリテーション ……P3
二度目の退職のご挨拶 (武田 功 先生) ……P4

新型コロナウイルスと

正しく闘うために！

新型コロナウイルス感染症の発生から早1年が経ちます。2020年1月末の時点では、新型コロナウイルスの感染が確認されていたのは1万人弱で、200人以上が死亡していましたが、中国以外での死者は出ていませんでした。2020年11月には全世界で感染者は約6700万人、死者は15万人以上、日本国内の感染者は約14万人、死者は約2300人となっています。去年1年で私たちの暮らしも、とても変わってしまいました。新型コロナウイルスとの闘いはまだ長くなりそうです。今一度、新型コロナウイルスを正しく理解し、コロナと闘っていきましょう。

新型コロナウイルス(COVID-19)とは？

ウイルスは病原体の一種で、細菌よりずっと小さく、電子顕微鏡でやっと見えるくらいです。細菌は自分で増えることができますが、ウイルスは自身だけでは増殖できず、ほかの生物の中で増えて病気を引き起こします。細菌には抗生剤(抗菌薬)が効きますが、ウイルスには効果がありません。新型コロナウイルス(COVID-19)の正式名称はSARS-CoV-2ウイルスです。2019年12月、中国・湖北省武漢市で発生したとされ、あつという間に世界中に感染が拡大した7番目のコロナウイルスです。コロナウイルス7種類のうち4種類は、かぜの症状を引き起こすのですが、新型コロナウイルスは重度の肺炎を引き起こすことがあります。重症化すると、サイ

トカインストームと呼ばれる過剰な免疫

図1：新型コロナウイルス感染症患者のCT画像



反応を起こしたり、急性呼吸窮迫症候群(ARDS)という重度の呼吸不全を起こしたりすることが知られています。写真のCT画像は当院に入院した新型コロナウイルス感染症患者さんのCT画像です(図1)。重症になると、両側の肺が

表1：新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの相違

	新型コロナウイルス	インフルエンザ
症状	発熱に加えて味覚、嗅覚障害を伴うことがある	しばしば熱を呈する
潜伏期間	1～14日(平均5.6日)	1～2日
無症状感染	数%～60% 無症状患者でもウイルス量が多く感染力が強い	10% 無症状患者のウイルス量は少ない
ウイルス排出期間	遺伝子は長期間検出するものの、感染力があるウイルス排出期間は10日以内	5-10日(多くは5-6日)
ウイルス排出ピーク	発症日	発症から2～3日後
重症度	重症になりうる	多くは軽症から中等症
致死率	3～4%	0.1%以下
ワクチン	開発中	使用可能
治療	確立された治療薬はない	オセルタミビル、ザナミビル、ペラミビル、ラニナミビル、パロキサビル マルボキシル

一般社団法人日本感染症学会提言今冬のインフルエンザとCOVID-19に備えてより改変

に広がり、人工呼吸器の助けがないと体内の酸素が足りなくなってしまう。新型コロナウイルス感染症の致死率は約3%とされています。冬に流行するインフルエンザの致死率は0.1%以下です。その30～40倍以上の致死率ということになります(表1)。しかし、重症化する割合や死亡する割合は以前と比べると低下しており、令和2年6月以降に診断された人の中では、重症化する

人の割合は約1.6%(50歳代以下で0.3%、60歳代以上で8.5%)、死亡する人の割合は約0.1%(50歳代以下で0.06%、60歳代以上で5.7%)となっています。

新型コロナウイルスの感染経路

新型コロナウイルス感染症は、「飛沫感染」と「接触感染」が主な感染経路と考えられています。

「飛沫感染」とは、感染者の咳や会話で飛んだ飛沫によって拡散されたウイルスを吸い込むことで感染する経路です。飛沫は2メートルほど飛ぶことが知られています。このため、発症者は咳エチケットとしてマスクを着用し、ウイルスが飛散しないようにします。マスクの着用により、感染者と接する人のウイルス吸入量が減少することがわかっており、布マスクを感染者が着用した場合に60～80%、感染者と接する人が着用した場合に20～40%減少します。マスクがない場合は飛沫が飛ばないよう2メートルの間隔を取ることが推奨されます。「接触感染」は、感染者の手についたウイルスがドアノブや手すりなどを介して非感染者の手について伝播する経路です。人は1時間に23回ほど無意識に顔を触っており、こまめに手を洗ったり、意識的に顔に手を持ってこないように注意することが接触感染の予防に重要です。

新型コロナウイルスの潜伏期間は1～14日で、ウイルスに曝露(感染)してから多くの人は4日から6日程で発症します。新型コロナウイルス感染症患者さんは、症状が出る2日前から7～10日間程度が感染可能期間、いわゆる人に移してしまう可能性のある期間とされています。新型コロナウイルス感染症と診断された人が、他の人に感染させているのは2割以下で、多くの人は他の人に感染させていないと考えられています。このため、感染防護なしに3密(密閉・密集・密接)の環境で多くの人と接するなどによって1人の感染者が、何人もの人に感染させてしまうことがなければ、新型コロナウイルス感染症の流行を抑えることができます。

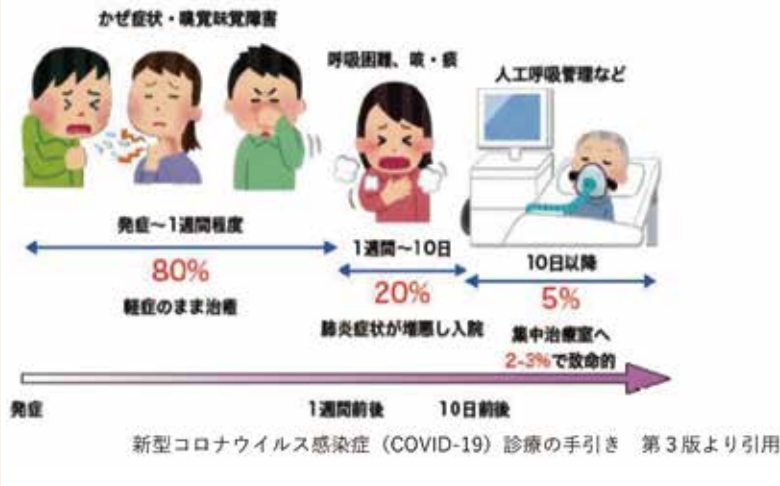


外科医長・感染対策室室長 高橋 崇真

新型コロナウイルス感染症の一般的な症状

新型コロナウイルス感染症の主な症状は、発熱、咳、筋肉痛、倦怠感、呼吸困難などが多く、頭痛、喀痰、血痰、下痢、味覚・嗅覚障害などもみられます。中にはウイルスに感染しても無症状の人もあります。5万例を超える中国からの報告では、多くの症例は軽症で自然に改善し、約80%の症例は軽症・中等症、13.8%が重症（呼吸苦、呼吸数の増加、血中酸素濃度の低下など）、6.1%が重篤（呼吸不全、敗血症性ショック、多臓器不全など）で、3.8%の方が亡くなっています（武漢5.8%、それ以外0.7%）。発熱や咳は約8割の患者さんで出現し、倦怠感や食欲不振が5割程度の患者さんでみられます。呼吸困難を認める場合は肺炎を発症している可能性があります。重症化する症例の多くは、発熱や咳などの症状が出現してから5日から8日後ぐらいから急速に悪化することが報告されています。（図2）高血圧や心不全などの循環器疾患、糖尿病、慢性呼吸器疾患、がん、免疫不全状態、人工透析、肥満なども重症化のリスクとなります。また、60歳以上は重症化や死亡のリスクが高く、特に80歳以上では21.9%の方が亡くなったと中国のデータでは示されています。

図2：新型コロナウイルス感染症の経過



検査と診断について

表2：大垣市民病院で実施可能な新型コロナウイルス検査		
実施検査	PCR検査	抗原検査
所要時間	1～4時間	15～30分
検査材料	鼻咽頭、鼻腔、唾液	鼻咽頭、鼻腔
費用	公費（国が負担）	公費（国が負担）
有症状者	○	○
無症状者	○	×
その他	● 軽症者は一旦帰宅し、電話にて結果をお伝えします。 ● 希望による自費検査は行っていません。	

治療薬とワクチンについて

現在、新型コロナウイルス感染症に対する抗ウイルス薬やその症状に応じた様々な治療薬の開発が進められています。現時点では、特効薬はなく治療方法としては対症療法が中心となっています。デキサメタゾン（ステロイド）は新型コロナウイルス感染症の治療薬として承認されているわけではありませんが、感染患者の死亡率が減少し

たことが英国で示され、当院でも感染患者の治療に使用しています。

新型コロナウイルス感染症のワクチンは、WHOの12月2日時点のまとめによると、臨床試験に入っているワクチン候補は51種類。このほかに163種類が前臨床の段階にあります。厚生労働省は今年の前半までに全国民に提供できる数量を確保することを目指しています。できるだけ早期にワクチンが実用化され、私たちの手元に届くのを心待ちにしましょう。

大垣市民病院の新型コロナウイルス感染症に対する対応

安心して受診していただくために様々な対策を講じ、病院内にウイルスを持ち込まないように心の注意を払って診療しています。

● 受診相談体制

発熱等の症状があり新型コロナウイルス診療をご希望の方は、受診前に必ず新型コロナウイルス専用ダイヤル（0584・77・0783）へ連絡をお願いします。不要不急の病院受診はかえって感染のリスクを高くし、さらには外来診療の混乱の原因ともなりますのでご協力をお願いします。

● 体温測定

正面玄関（病院北側）でサーモグラフィによる検温を行っています。また、外来診療の前に患者さんの体温測定も行っています。体温が37.5℃以上の方は医師の判断により、通常とは異なる診療となる場合があります。（原則的に発熱患者の診療は救急外来にて行っています）。

● 発熱患者や特定の手術患者のPCR検査

発熱患者および特定の手術患者には抗原検査/PCR検査を院内で行っています。新型コロナウイルスを院内に持ち込まないようにし、皆さんに治療や検査を安心して受けていただけるようにしています。

● 面会制限

- ・1家族1日1人
- ・手術当日の付き添いは2人まで、特殊な検査（血管造影検査など）は1人
- ・37.5℃以上の方、体調不良の方の面会をご遠慮いただいています。
- ・不運にも新型コロナウイルスに感染してしまった方々には、我々が治療に全力で取り組みますので、ご安心ください。

新型コロナウイルスに感染しないために心がける事

新型コロナウイルス感染症は「誰もが」感染する、または感染している、さらには感染を広げてしまう可能性がある事を忘れないようにしましょう。「自分はきっと大丈夫」という油断は禁物です。今後、国内の流行状況やワクチン接種の状況によって多少内容が変わる可能性はありますが、新型コロナウイルスに感染しないために引き続き新しい生活様式に沿った日常生活を心がけましょう。（図3）

- ・身体的距離の確保
- ・マスクの着用
- ・手洗いを心がける
- ・顔（特に眼、鼻、口）はできるだけ触れない
- ・家庭内でよく触れる部分（ドアノブ、スイッチ、手すり、リモコン、電話、携帯電話などの清掃、消毒
- ・睡眠や食事をしっかりと、体調を整える等、感染予防のために普段からできる事を心がけましょう。

図3：新型コロナウイルス感染リスクが高まる5つの場面



入退院支援センター 開設から1年

看護師長 國枝 みどり



入退院支援センターは開設1年を迎えました。外科、循環器内科から始まり現在は13科145種類の標準計画書に沿って入院される患者さんの説明を行っています。入院説明は1か月450名を超え、入院される患者さんの約3分の1以上が入退院支援センターから入院されています。開設当初は「外来でずっと待たされたのに、これから説明ですか？何時までかかるの？」など言われることもありましたが、今では「良くなりました、丁寧に説明してくれてありがとうございます。」と言って頂きます。

師、歯科衛生士、栄養士などが入退院支援センターで指導、説明をさせていた

入院するにあたり、患者さんは



患者さんの待ち時間の負担も考え、予約での入院説明を始めました。事前に周術期口腔機能管理チームへの依頼、内服薬確認の予約、入院前検査の予定を組み、その後

入院費のことや家族の介護のこと、手術検査時の待機のことなど様々な問題を抱えています。困難な事例への対応はその都度、医療ソーシャルワーカーとカンファレンスを持ち解決に努めています。解決策は部署の知の財産になるよう、内容をまとめ、後に活かせるようにしています。

今後も入院される患者さんに寄り添い、様々な問題をあらかじめ把握し安心して入院生活が送れるよう支援してまいります。



落ち着いて説明や指導が受けられるよう配慮しています。多職種連携も定着してきました。患者さんが移動するのではなく、認定看護



入退院
支援センター

医療技術部

変形性膝関節症と リハビリテーション

リハビリテーションセンター 理学療法士 内田 知洋



変形性膝関節症とは、膝関節の軟骨組織の老化や過負荷によって、膝関節周囲を損傷することで痛みを誘発し、膝関節が変形し動きにくくなり、日常生活動作に困難をきたす疾患です。我が国で、痛みなどの自覚症状を有する患者数は約1000万人、潜在的な患者数は約3000万人いるといわれています。肥満や骨折、靱帯・半月板損傷の後遺症として発症することもあり、膝の軟骨は損傷すると自然治癒する事はありません。高齢化の中、患者数は年々増加傾向にあり、要介護・要支援となる原因の第1位となっています。

由として、高度な手術療法と術後の痛みのコントロール、リハビリテーションがあります。術後から、患者さんに合わせた鎮痛剤を使用しながら痛みをコントロールし、術翌日からリハビリテーションを始め、医療機器による膝の運動、車椅子乗車や歩く練習を行います。リハビリテーションを行うことで筋肉の柔軟性の向上、全身持久力の向上、骨密度の維持、認知機能・気分の改善と様々な効果が望めます。入院中の転倒の予防や痛みによって制限されていた膝の動きの改善、家に帰ってからの不安に対してサポートしていく事もリハビリテーションの大きな役割です。

当院整形外科では、外科的処置として膝関節を人工関節に置き換える手術療法を年間約50症例実施しています。多くの患者さんでは、手術によって膝の痛みが劇的に改善し、再びスムーズに歩け、日常生活が充実するようになります。この手術の入院期間は3年前には21・4日でしたが徐々に短縮し、令和元年度には17・4日となっています（全国平均23・6日）。

痛みを我慢しながらの生活は、徐々に筋力の低下をきたし、更に悪化をしてみよう可能性があります。慢性的な膝の痛みがあり今までの生活が難しくなってきた場合は、整形外科にて状態を確認してもらいましょう。

殆どの患者さんが、杖歩行にて自宅退院されています。早期回復に繋がった理



二度目の退職のご挨拶

健康管理センター 武田 功

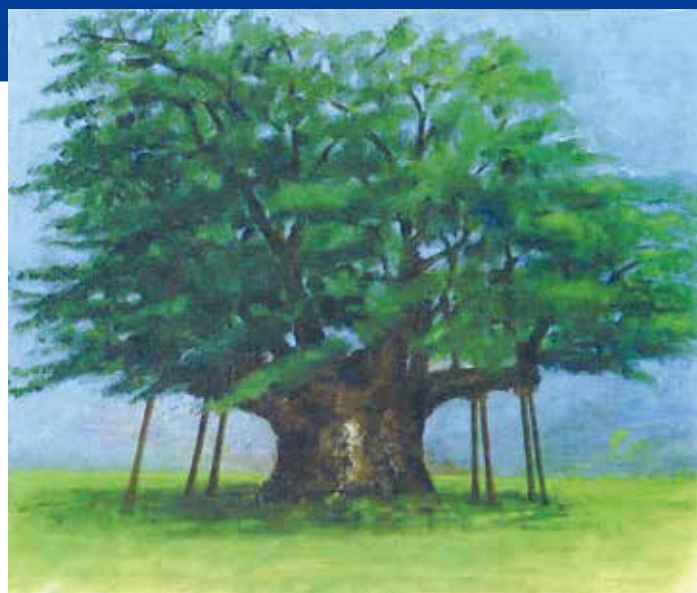
この3月末日をもって、大垣市民病院を退職させていただくこととなりました。10年前の定年退職をはさんで、46年6か月の在任でした。今回、機会をいただきましたので、二度目の退職のご挨拶をさせていただきます。1974年9月1日に当院第二内科（現、消化器内科）に赴任いたしました。森初代院長の時代でした。以後、消化器内科で25年、健康管理センターで21年半務めさせていただきました。

消化器内科では、常時15人くらいの入院患者を受け持ち、週2回の外来診療では1日70～80人を診ておりました。検査、検査と多忙な毎日でしたが、若いころでした。印象深い患者さんも沢山いらっしゃいますが、もう二昔になってしまいました。

健康管理センターでは、毎年6千人くらいの受診者があります。1年1回の触れ合いですが、7、8割が定期受診の方で、顔なじみの方も随分多くなりました。最近の5年間は非常勤となっておりましたが、だんだんと私の方が受診者の皆さまより高齢となり、「去年は会えなかったので心配していました」とか「また1年お元気で」とか挨拶されるようになっておりました。毎日が医師1人勤務の職場です。欠勤はご法度ですが、幸いにも1日も休むことなく勤めあげることができました。今年度はコロナ禍で春に休診という非常事態がありましたので、3月末まで多忙な日々が続くと思いますが、もう一息頑張ってみようと思います。

来年度からも今の責任者である谷川先生が中心となり、健康管理センターを運営されますが、彼とは5年間ペアで仕事をし、健診に関する価値観は完全に一致しております。また、私の抜けた穴は後任の先生が埋めてくださるとお聞きしておりますので、ありがたいことだと思っております。

51年間の医師生活の大部分を過ごした大垣市民病院を去るのは名残り惜しいことですが、幸せな医師生活でした。院長先生をはじめ、ご指導、ご鞭撻をいただいた職員の皆さまには心からお礼を申し上げます。また、関わりのあった西濃地域の皆さまには、もう少し尽くせたのでは？との自省を込めて、退職のご挨拶を申し上げます。ありがとうございました。



臨床倫理方針

- 1) 患者の人権を守り、自己決定権を尊重します。
- 2) 患者中心の良質で高度かつ公平な医療を提供します。
- 3) 患者への正確な情報提供と十分な説明を行い、患者同意のもとに信頼される医療を提供します。
- 4) 他の医療機関での医師の意見を求める、セカンドオピニオンに対応いたします。
- 5) 患者の個人情報の保護と守秘義務を徹底します。
- 6) 関係法規、ガイドラインを遵守した医療を提供します。
- 7) 生命の尊厳、医療の妥当性に関する問題については、臨床倫理委員会で審議し、治療方針を決定します。

理念

患者中心の医療・良質な医療の提供

大垣市民病院の基本方針

- ① 地域の基幹病院として、住民の健康と福祉の増進に貢献します。
- ② 患者さんの立場を第一に考え、公正且つ普遍的な医療の提供に努めます。
- ③ 医療安全を推進し、安心で安全な医療の提供に努めます。
- ④ 医学の進歩に沿って病院施設・医療機器の整備や充実を図り、専門的な医療の提供に努めます。
- ⑤ 公共性と経済性を両立し、健全な病院経営に努めます。
- ⑥ 地域の医療機関との連携を保ちつつ、患者さんに信頼される医療活動に努めます。

大垣市民病院臨床研修の理念

- ◎ 社会人としての規律を守り、医師としての自主性と高い倫理観を持ち、思いやりのある人格を育てる。
- ◎ プライマリ・ケアに必要な幅広い診療能力を修得する。
- ◎ チーム医療の一員として、安全・安心・満足の得られる患者中心の良質な全人的医療を実践する。

当院は、臨床研修病院に指定されており、次世代の医師育成のため、上級医の指導のもと研修医の臨床研修及び学生の臨床実習を行っています。

当院で一緒に働きませんか？

病院職員随時募集中

大垣市民病院では、次のとおり職員を募集しています。

○職種／正職員：医師、看護師等

会計年度任用職員：

看護師、薬剤師、医療クラーク、作業療法士、
診療情報管理士、医療補助員、看護補助員
診療放射線技師、臨床検査技師 等

大垣市民病院 採用 検索



採用情報

○問い合わせ先／事務局庶務課 人事グループ 内線：6140



当院の敷地・駐車場内は全面禁煙です。

編集後記

「四季の風」は平成15年に発刊し、今号で73号になります。バックナンバー（36号以降）は右記QRコードよりご覧になれます。次回は4月1日に発行予定です。今後とも多くの皆さまの声をお聞きしながら、読みやすい紙面づくりを目指してまいります。ご意見ご要望がございましたらお気軽にお寄せください。



院外広報誌

大垣市民病院広報・企画委員会

〒503-8502 大垣市南瀬町4丁目86番地
TEL(0584)81-3341 FAX(0584)75-5715
<http://www.ogaki-mh.jp/>
(電話でのお問い合わせについては、お間違いのないようお願いします)